

看護人材育成論

単位数：2 単位

○津本優子：基礎看護学講座教授

任 和子：京都大学大学院医学研究科
人間健康科学系専攻教授

1. 科目の教育方針

専門職としての看護職は、時代の変化に対応して、幅広い視点から社会の健康問題を捉え、自ら課題に取り組み、自らの役割を開拓していかなければならない。特に、CNS をはじめとする大学院修了者には、看護継続教育を企画し運営して、看護専門職の人材育成においてリーダーシップを発揮することが期待されている。

本科目では、専門職としての生涯学習の観点から、看護基礎教育の基盤の上に看護実践能力を効果的に発展させるための看護継続教育の考え方と方法を、理論的根拠に基づいて学習する。さらに、実際の教育計画を批判的に分析し、改善点を反映した教育計画を検討することを通して、人材育成と活用に必要な洞察力や判断力、問題解決能力を養う。

2. 教育目標

- 1) 看護学の基礎教育及び継続教育の歴史と現状、課題を理解する。
- 2) 看護専門職のキャリア開発における基本概念、理論を理解する。
- 3) 看護継続教育の実際を批判的に分析し、改善すべき課題を明確化できる。
- 4) ジェネラリスト育成のモデルプランを作成できる。
- 5) スペシャリスト活用における課題を明確化し、対策を提示できる。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【方法と進め方】

- 1) 基本的にゼミ形式で実施し、学生の課題に対するプレゼンテーションに基づいて討論し、学習を深める。
- 2) ゼミは、Teams によるライブ配信を中心とする。

【評価】

評価は授業の参加度、プレゼンテーションの内容、レポートを総合的に評価する。

4. 参考文献等

- 1) 渡辺三枝子編著『新版 キャリアの心理学』ナカニシヤ出版、2007
 - 2) P. ベナー (井部俊子訳)：ベナー看護論、医学書院
 - 3) エドガーH. シャイン『キャリア・アンカー 自分の本当の価値を発見しよう』白桃書房、2003
 - 4) 勝原裕美子著『看護師のキャリア論』ライフサポート社、2007
- *その他 随時、授業で紹介する

5. 教育内容

回	月/日	内 容	講師
1	10/7	看護教育・看護学教育の歴史的考察 看護継続教育をめぐる動向と展望及び課題	津本
2	10/14	専門職業人とキャリア 1) 専門職の概念 2) 生涯発達心理学の視点とキャリア 3) 専門職業人としての看護職のキャリア・ディベロップメント	津本
3	10/21	看護専門職業人の育成 ベナー看護論とその活用：クリニカルラダー・システム ①ラダーの段階 ②臨床実践能力の3側面	津本
4・5	10/29 (金) 13:00- 16:35 (予定)	看護人材育成と活用の実際 ・ジェネラリストの育成と活用の実際と課題 ・スペシャリスト育成と活用の実際と課題	任
6	11/4	看護専門職業人の育成 3) クリニカルラダーによるジェネラリストの育成 ③卒後継続教育の視点と方法	津本
7	11/11	看護専門職業人の育成 3) クリニカルラダーによるジェネラリストの育成 ④新人～一人前看護師の看護実践能力育成の視点・方法・課題	津本
8	11/18	看護専門職業人の育成 3) クリニカルラダーによるジェネラリストの育成 ⑤中堅～ベテラン看護師の臨床実践能力育成の視点・方法・課題	津本
9	11/25	看護専門職業人の育成 4) 専門看護師の教育的機能、スペシャリストの育成と課題 5) 看護管理者、教育研究者の育成と課題	津本
10	12/2	継続教育の展開 ・教育を支える学習理論	津本
11	12/9	・看護学教育における教授法	
12	12/16	・評価の目的・プロセスと種類・評価方法 ラダーシステムによる教育プログラムの作成（演習）	
13	12/23	・現行教育プログラムの課題 ・臨床実践能力の帰納的分類、実践能力育成課程の構造化 ・教育目標・教育方法・評価方法の設定 （新卒看護師・一人前看護師・中堅看護師） ・ジェネラリストとスペシャリストの協働モデルの検討	
14	1/13	教育プログラムの発表	

学外講師の担当コマは集中で行う。講師の都合により変更することがある。